



沈

黙は金、無口であることが美德という傾向のある私たちですが、今の時代はそれではうまくいかないこともありそうです。会社勤めでも日常会話でも自分の思いを伝えることは必須になっています。

そうした話の技術を認定するのがスピーチ・マスターの資格です。この資格は一般社団法人日本スピーチ・コミュニケーション協会の認定するもので、講習と資格認定試験に合格することで得られます。スピーチは多数の人、不特定の人を相手に話をすることもあり、伊藤さんはそれを法話にも生かしています。

鎌倉の建長寺では時折、法話の会が開かれます。ある時、知人が建長寺で偶然伊藤さんの法話を耳にして「佐野市のお坊さんの話がすごくよかった」と言ってきました。通りすがりに境内で聞こえた法話が非

その言葉が、心に灯る

常に印象深かったようです。私も何度か伊藤さんの法話を聞く機会がありました。身近な話題を取り上げ、普段の生活の中から生き方を考えさせられました。

お坊さんの話というとなんとなくありきたりという印象がありますが、そういうものではありませんでした。これは伊藤さんが若かりし頃、現実と将来の夢に行き詰まり苦しみ、そのなかで僧侶の道を選んだという体験が大きいと思います（共著書『鉢の木へ、ようこそ！』時潮社刊参照）。

最近はお寺の在り方も変化し、墓じまいや樹木葬などもあります。お寺にはお墓の維持のみでなく生きた人間のための心よりどころが求められています。そういった点で伊藤さんの今後の僧侶としての布教活動が大切になると思います。

（市民記者 福田満）

キラリ話題の人

けんざん
伊藤 賢山 さん

・山形町報恩寺住職
・スピーチ・マスター



ようこそ 市長室からこんにちは！

今皆さまがご覧になっている「広報さの」は、手に取って読みたいくなる広報紙を目指し、令和5年4月号からフルカラーへと一新いたしました。以降、内容の充実に努めてまいりました本紙が、このたび令和8年度全国広報コンクール（日本広報協会主催）において、初の「入選」を果たしました。

全国の市部門でわずか15点という厳しい選考を経ての入選は、本市にとっても大きな励みとなります。入選となった令和7年4月号では「クリケットを活用したまちづくり」を特集し、地域経済や国際交流への波及効果を広く発信いたしました。これまで「桜」や「方言」、「化石」、「星空」など多岐にわたる特集をお届けしてまいりましたが、

今後も市政情報の発信のみならず、郷土の魅力を再発見できる質の高い情報発信に努めてまいります。さて、こうした魅力発信の一環として、人気TVアニメ「黒執事 寄宿学校編」とコラボレーションしたデザインマンホールを設置いたしました。作中のクリケットシーンを、本市に拠点を置く日本クリケット協会が監修した縁で実現したもので、日本代表のユニフォームをまとったキャクターたちが、本市の国際クリケット場の天然芝を背景にプレーする特別なデザインとなっています。

マンホールは市役所周辺や駅前通りなど、中心市街地を歩いて巡れる場所に設置しております。作品のファンやマンホール愛好家の方はもちろん、市民の皆さまにも全5種類のマンホールを巡りながら、佐野の街歩きを楽しんでいただければ幸いです。



佐野市長
金子 裕

約90名が出演！
思い出と共に響く歌声



4月5日(日)、田沼中央公民館大ホールで、第116回田沼歌謡愛好会・佐野市文化協会歌謡部門チャリティー発表会が行われました。

年3回の恒例行事で、今回は約90名が出演し、約200名の来場者で会場は終始にぎやかな雰囲気にもまれていました。

演歌を中心に「対馬海峡」や「北のアカシヤ」などが披露され、心に響く歌声が会場に広がります。出演者は70代から90代の方が多く、皆さんが笑顔で楽しそうに歌う姿に、見ている側も自然と引き込まれました。

着物をアレンジした衣装や華やかな装い、扇子を使った演出なども彩りを添え、和やかで心弾むひとときとなりました。

(市民記者 関口麻里)



東武鉄道子ども制服着用体験も♪
さのまるの家周年祭 2026

5月4日(月祝)、市役所1階さのまるの家前にて「さのまるの家周年祭 2026」が開催されました。

さのまるの家が市役所に移転して3周年をお祝いするため、セレモニーを実施。遠方から2体のキャラクターが駆け付け、ステージを盛り上げました。また、さのまるのグリーティングやサイン会、AR フォトが手に入るクイズなどさまざまな企画も行い、来場者は楽しいひとときを過ごしました。

東武鉄道によるブースも出展され、普段着用することのできない制服を身にまとい、子どもたちはすてきな笑顔で浮かべました。



大人も子どもも笑顔に
子どもフェスティバル in SANO 2026

5月3日(日祝)と4日(月祝)の2日間、こどもの国にて「子どもフェスティバル in SANO 2026」が開催されました。

初日となる3日は、オープニングセレモニーやサイエンスショー、ファミリーコンサートなど楽しいひとときを過ごすことができるイベントが盛りだくさんでした。

4日は、アストロカーによる太陽黒点観測、鉄道模型運転ショー、広場でのわんぱくレクリエーションなどが行われました。会場は多くの来場者でにぎわい、子どもたちの笑顔あふれるイベントとなりました。また、子どもたちがさまざまな催しに夢中で楽しむ様子が印象的でした。